

(別添資料1)

事業所名		HIYOKO STUDY 船岡教室(児童発達支援)		支援プログラム		作成日		2025	年	8	月	29	日
法人（事業所）理念		ありがとう											
支援方針		”・活動を通して充実感、感情コントロールや気持ちを引き出します。 ・身体機能の向上と社会適応を目指した療育を行って行きます。 ・一人一人の「できた」に向き合い、認め、一貫した支援で利用者様の特性や成長段階に合わせた療育を行います。”☑											
営業時間		9	時	30	分から	14	時	30	分まで	送迎実施の有無		あり	
		支 援 内 容											
本人支援	健康・生活	・心身の健康状態を健康チェックシートにご記入いただく他、受け入れの際に保護者や併用先保育所、幼稚園より伺い把握を行います。（日常の健康観察、検温） ・基本的生活スキルの獲得については活動場所の構造化を図り、何がどこにあるかなど文字やイラストなどを用いて視覚的な支援を行うことで理解しやすい環境を整えます。又、職員と一緒に繰り返し取り組むことで定着を図ります。（衣類の着脱、排せつ、手洗いの手順、歯磨き、荷物の整理・整頓・挨拶・日常動作）											
	運動・感覚	・姿勢保持、力加減などの身体の使い方、目と手の協応などを様々な運動遊びや玩具、教材、道具等を使用した遊びの中で経験できる機会を提供し、日常生活場面の動作に繋がるよう支援します。 ・個々の身体的機能を最大限に発揮しながら取り組めるよう、感覚の特性を踏まえた上でさまざまな粗大運動、微細運動などの遊びを提供し、興味の幅を広げます。（製作、リズム遊び、感覚遊び、運動サーキット、散歩、パズル、知育玩具、ルール遊び、お買い物学習、屋外活動、個別課題）											
	認知・行動	・製作活動や感覚遊びを通して物の属性や大きさ、形などの認知面の向上を図ります。 ・散歩や屋外活動、季節の活動などを通して空間や季節、時間等の概念の形成を図ります。 ・個々の発達に合わせ、絵本などを活用しながらイラスト、文字、数字などに興味が持てるよう支援します。 ・理解しやすい室内の環境設定やスケジュールを使用しながら見通しを持って自発的に活動に参加できるよう支援します。											
	言語コミュニケーション	・個々の言語発達に合わせたコミュニケーションを養います。（絵カード、ジェスチャー、発声など） ・興味を示していることを話す機会を設け、話す力と聞く力を養います。 ・児童の思いを職員が代弁する事で気持ちに寄り添い、思いが伝わる経験からコミュニケーションを取る楽しさを持てるよう支援します。又、思いを代弁することで自分の気持ちやその場に合った言葉、行動が繋がるよう支援します。											
	人間関係社会性	・安心して他者と関わりを持てるよう愛着と信頼関係の構築を図り、構造化した中で安心して過ごせるように配慮します。 ・職員の介助を受けながら自分でできること、助けが必要なことなどを理解し、自分の気持ちや情緒の調整が図れるよう支援します。 ・集団での遊びを通して手順やルールを理解できるようにし、社会性の発達を支援します。											
家族支援		・お子様の特性や成長段階に応じた相談援助 ・保護者様同士の交流の場の設定 ・兄弟姉妹への相談援助					移行支援		・学校や併用先事業所様との情報共有 ・将来的な支援を見据えた移行支援				
地域支援・地域連携		・相談事業所様や併用先事業所様との支援の連携 ・地域の公共施設を利用し、社会資源を活用					職員の質の向上		・職員の質の向上の為に資格取得の機会を導入 ・外部、内部研修へ参加し、より良い療育に繋げる				
主な行事等		●親子行事 ・はじまりの会・ウォーターフェスティバル・運動会・クリスマス会・親子遠足・卒園式 ●他行事 ・夏祭り・七五三参拝・ハロウィンパーティー・初詣・豆まき・ひな祭り会・クッキング など											